

## 6 主なイベント等の開催状況

(■は当協会が実行委員会の事務局を担当 ●は当協会の主催事業)

### (1) ■第85回北海道音楽大行進（平成29年6月3日）

参加団体数99団体、参加者数3,937人、観客動員数は13万1千人。当日は低温と護国神社祭と日程が重ならなかったこともあり、前々回の第83回より観客動員数が14.1%減少した。平成28年の荒天中止を受けて雨天時の代替コンサート会場を準備していたが予定通り実施されて、2年越しの音楽パレードを待ちわびた沿道の観客に応えた。なお、雨天代替会場の市民文化会館についてはアフターコンサート会場の一部として使用し好評を得た。

### (2) 花フェスタ2017旭川（平成29年6月14日～18日開催）

旭川市、北海道新聞社、旭川商工会議所、当協会など11団体、機関等で花フェスタ旭川実行委員会を構成し、旭川大雪アリーナを会場に開催。

平成29年度は、「花と暮らすまちづくり、夢づくり」をテーマに5日間、多彩な催しが行われ、約13万7千人の来場者があった。

### (3) バーサーロペット花いっぱい運動（平成29年6月25日～7月28日）

国際バーサーロペット交流委員会が主催する事業で、スウェーデン、アメリカ、中国、日本（旭川）の4か国の高校生が交流する「青少年文化交流事業」の資金協賛のため、フラワーポットを市内各所に設置する運動。当協会も、各理事・会員から協賛を得て、旭川観光コンベンション協会のステッカーを貼付したフラワーポットを総合体育館に設置して同事業に協力。

### (4) 第56回旭川夏まつり（平成29年8月3日～5日開催）

8月3日（木）～5日（土）の3日間、道新納涼花火大会、大雪連合神輿、市民舞踊パレード、大雪さんろくまつり、烈夏七夕まつり等の各行事と併催。開会式では、旭川観光コンベンション協会観光頭功賞授与式を行い、観光頭功賞1団体、特別観光頭功賞1名、観光頭功奨励賞3名を表彰。旭川観光ボランティア協議会の協力を得て、大雪さんろくまつり会場での観光案内や障害者によるユニバーサル神輿のサポートなどを実施。

### (5) 2017 北の恵み 食べマルシェ（平成28年9月16日～18日開催）

平成29年9月16日（土）～18日（月）の3日間、JR旭川駅、駅前広場、平和通買物公園、七条緑道、常磐公園を会場に、北・北海道地域の農・畜・海産物、加工食品、自慢料理・郷土料理などを一堂に集める巨大市場を展開。最終日が悪天候で中止となり、2日間の来場者は85万6千人。当協会は旭川観光ボランティア協議会の協力を得て、常磐公園内でイベントの説明や会場案内などを担当。また、旭川観光ボランティア協議会は駅マルシェ会場内の旭川駅西コンコースでも会場案内等を担当。また、旭川観光物産情報センターとあさテラス案内所（5条通7丁目フードテラス）は英語対応可能な案内所として開設。

(6) ■第60回こたんまつり（平成29年9月23日開催）

旭川市、旭川商工会議所、西神居地区市民委員会、旭川チカップニアイヌ民族文化保存会、当協会で行行委員会を組織し、秋分の日に神居古潭旧駅舎周辺を会場に開催。昭和33年から続く旭川の歴史的な観光イベント。市民や観光客が神居古潭の自然や歴史的文化遗产などに親しみ、当地域の魅力を再発見して、地域の活性化を図ることを目的とする。平成29年度は第60回記念イベントとして神居古潭の四季をテーマに5月、6月、8月に旧神居古潭駅舎で「こたんカフェ」を開催し、地元の特産品や市内カフェの飲み物を提供した。また、9月には旭川市立図書館で「神居古潭・こたんまつりの歩み展」を開催し、当地域の歴史や見どころなどを紹介した。9月23日、24日は神居大橋のライトアップを約30年ぶりに復活。祭り当日は帯広カムイトウウポポ保存会による古式舞踊の披露や地域特産品の販売、あさひかわジオパークの会の協力を得て、道や市の指定文化財である竪穴居住遺跡やおう穴群を巡るミニ・ジオツアーなどを行い、延べで1万人を超える来場者（前年の2倍）があった。

(7) ■旭川街あかり推進事業（平成29年12月2日～平成30年3月11日）

【市受託事業】

旭川街あかり計画に基づき、「街あかりシンボルゾーン」をイルミネーションで飾り、冬季の夜の景観美を創出する事業で平成7年から開始。緑橋通り、平和通買物公園、昭和通り、常盤ロータリー等で約20万個のイルミネーションが点灯、旭川の冬の風物詩として定着している。

外国人観光客の増加により、今季は23時まで1時間点灯時間を延長し、12月2日～3月11日まで約3か月間実施した。観光客がイルミネーション前で記念撮影をする姿が見られるなど、中心市街地の賑わいを演出する一助となっている。（点灯式：12月2日（土）16:00～於：アッシュアトリウム）

(8) ●旭川地区観光関連新春交礼会（平成30年1月15日開催）

旭川周辺市町の観光協会をはじめ、あさひかわ観光誘致宣伝協議会、大雪山広域観光圏推進協議会、旭川ホテル旅館協同組合、旭川シティホテル懇話会、旭川観光社交組合の共催で実施する新春交礼会。観光関係者や行政関係者など約200名が出席。新年の抱負を語り合いながら、情報交換を行う。

(9) 第59回旭川冬まつり（平成30年2月7日～12日開催）

道北最大の冬季イベントとして、氷彫刻世界大会と併催し、平成30年2月7日（火）～12日（月）までの6日間開催。人気お笑い芸人ブルゾンちえみのステージなどで97万6千人の人出で賑ったが、期間中後半、天候に恵まれなかったこともあり「冬マルシェ」売上合計は28,150千円で前年比10.9%減となった。

当協会は、「冬マルシェ」出店舗（32店）の売り上げ管理、「実行委員会売店」の運営、「ほっと。ラウンジ」の清掃、ゴミの分別収集を担い、旭川観光ボランティア協議会も冬まつり市民ボランティアとともに会場案内や会場内の清掃、外国語通訳などの役割を担った。

(10) ●宮崎市観光訪問団歓迎交流会（平成30年2月7日開催）

宮崎市との友好訪問ツアーは、昭和62年8月に旭川市で当協会と宮崎市観光協会が友好観光協会提携盟約を締結し、昭和63年3月に旭川から第1回目の宮崎市訪問を実施したことに始まる。

以来2年に1度のペースで相互に交流しており、提携盟約30年に当たる平成29年度は旭川冬まつり初日に第17回宮崎市観光訪問団を迎えた。宮崎市側から27名、旭川市側は48名の参加により交流を深めた。

(11) 第37回バーサーロペットジャパン（平成30年3月10日～11日開催）

北欧スウェーデンのグスタフ・バーサー王の偉業を記念し、1981年に第1回大会を開催して以来、旭川の冬的一大スポーツイベントとして定着。

クロスカントリースキーは「富沢会場」、歩くスキーは市内中心部の「北彩都特設会場」の2会場で開催され、旭川観光ボランティア協議会が2日間ともゴール付近の給食所における給食サポートを担当。今年も約3千人が旭川の雪原を楽しんだ。